

↓高木真一さん（新庄）にわらじの作り方を教わる参加者たち



昔ながらの登山靴作り 山河まつり

9月19日と20日に、山河まつりが溪流の里で実施されました。

この催しは、自然を満喫するために行われたもので、魚のつかみ取りや鹿角のアクセサリ作り等が行われました。19日には、自分で作ったわらじを履いて赤坂山に登るイベントが行われ、参加者は編み方を教わりながら、わらじ作りを楽しみました。

↓久々子湖沿いの道路に落ちたゴミを拾う参加者



久々子湖周辺を一掃 三方五湖一斉清掃

9月27日に、三方五湖保全協議会主催による三方五湖一斉清掃が行われました。

美浜町では町内外から約330人が参加し、それぞれの持ち場に分かれて久々子湖周辺のごみを拾いました。

この日の清掃活動により、可燃ごみ約400kg、不燃ごみ約100kg、粗大ごみ約2tを回収しました。

↓自分で掘ったさつまいもを手にする園児



秋の味覚を掘り起こす さつまいも収穫～せせらぎ保育園～

10月6日に、せせらぎ保育園児によるさつまいもの収穫が行われました。

今回収穫したさつまいもは、5月に新庄の大谷原の畑に保護者と園児が植えたもので、園児たちはスコップを使い、一生懸命掘り起こしていました。

収穫したさつまいもは、給食や、参観日に作る焼き芋としておいしくいただきます。

↓白熱の玉入れ



↓競技の合間に行われた応援



スポーツの秋を満喫 第39回美浜町老人スポーツ大会

10月7日に、第39回美浜町老人スポーツ大会が総合体育館で開催されました。

本大会は、美浜町老人クラブ連合会主催で毎年行われているもので、玉入れや風船割り競争等、全14種類の競技が行われました。

参加者約600人は、終始和やかな雰囲気の中、競技を楽しんでいました。

↓土のう設営訓練を受ける参加者



地域の防災力向上に向けて 防災訓練(北地区)

10月4日に、北地区を対象とした防災訓練を北地区公民館で実施しました。

訓練では、大雨による土砂災害を想定し、災害情報の伝達や住民避難等を行いました。

避難所の北地区公民館では、県の防災ヘリコプターによる救出訓練の見学や、自衛隊による土のう設営訓練等が行われ、参加者は熱心に取り組んでいました。



↑県の防災ヘリコプターを見学する参加者

↓芸能祭の最後を飾った美浜町の演目



電車にゆるキャラが勢ぞろい JR小浜線ラッピングトレイン 運行開始

10月11日に、JR小浜線の車両に嶺南6市町のご当地キャラの姿をあしらったラッピングトレインが運行し、各駅で記念イベントが行われました。

本車両は、JR小浜線の利用促進を目的に、平成30年夏頃まで1日1～3往復運行する予定です。

当日は、美浜駅に約60人の親子連れが集まり、車両の到着を出迎えました。

↓ラッピングトレインの前で記念写真を撮る親子



県内の文化芸能団体が集結 第25回福井県市町文協 選抜芸能祭



9月27日に、福井県市町文協選抜芸能祭がなびあすで行われました。

この催しは、福井県内の市町文化協会・文化協議会の交流と地域文化の振興を目的に開催されたもので、県内17市町から選抜された芸能団体が発表を行いました。

芸能祭の最後には、町内団体が一つとなり企画した演目が発表され、会場からは大きな拍手が送られました。



子育ての悩み、 臨床発達心理士に相談しませんか？

① つけや、他の子どもとの関わり、生活習慣等、子育ての中で、困っていることや悩んでいることはありませんか？

子育て支援センターでは、2か月に1回、臨床



↑個別で相談に応じる臨床発達心理士

発達心理士の先生を迎えて「子育て相談会」を開催しています。

臨床発達心理士とは、人の健やかな成長を支援する専門家で、発達心理学をもとに、“発達の観点”から相談に応じます。

相談は個別で行います。相談中は、センター職員が託児にあたりますので、話を聞いてみたい方は、お気軽に職員までお問い合わせください。

※先生が来られる日時については、事前にお問い合わせください。

※個人情報、固く守ります。

※お問い合わせ先
子育て支援センター(担当・山田) ☎32-0192

打撲・捻挫の対応(RICE)

「滑って足をぶつけてしまった」「足を捻ってしまった」等、打撲や捻挫は老若男女問わず多いです。もちろん、痛みがひどい時は病院に行った方が良いのですが、夜中や休日で空いていなかったり、病院にわざわざ行くほどではないが悪化させたくない、という時は自宅でどのような対応をすればよいのでしょうか。



東部診療所 猪山 医師
(10月末まで研修中)

自分で行える4つの処置

基本は外傷によって炎症・腫れが起こるので、これを悪化させないように次の4つの手順を実践します。

●休息(Rest)

外傷によって炎症が起きます。この時に痛みを我慢して動くと、炎症が強くなり痛みの悪化・患部の腫れにつながります。また骨折していた場合は動くことで骨折がひどくなる可能性もあります。患部をできる限り安静にしましょう。

●冷却(Ice)

冷やすと血管が収縮し腫れや炎症を抑えます。2時間ごとに1回20分ずつ冷やすことを3日ほど続けます。

●圧迫(Compression)

適当な圧迫で腫れや炎症を抑えます。市販されているサポーターやテーピング等を利用します。

●拳上(Elevation)

心臓より高い位置に患部を持っていくことで、腫れを予防します。

以上、4つの方法の頭文字をとってRICEとも言います。緊急時を含めRICEを行い、捻挫・打撲を悪化させないで早く治癒するよう取り組みましょう。

※お問い合わせ先
東部診療所(猪山医師) ☎37-2911

冬の感染症対策

冬は、インフルエンザをはじめ、ウイルスや細菌による感染性胃腸炎等の感染症が流行する季節です。

ウイルスや細菌は、多くの場合、人の手を介して感染するため、「手洗い」は感染症予防において特に効果的です。次のポイントに注意して、冬の感染症を予防しましょう！



■手洗いについて

- ①帰宅時、調理や食事の前、トイレの後には必ず手洗いをしましょう。
- ②手を洗う際は、時計や指輪を外し、洗い残しが無いようにしましょう。
- ③石けんをよく泡立て、指や手のひらのしわの間、手首までよく洗い、最後は流水できれいに洗い流しましょう。
- ④外出先や集団の場合は、共用のタオルは使わず、使い捨てのペーパータオルやハンカチ等を使いましょう。

■その他

- 外から帰った時には、手洗いだけでなく、うがいもしましょう。
- バランスの良い食事や十分な睡眠を心がけ、体の抵抗力を高めましょう。
- 空気の乾燥により、のどの粘膜の防御機能は低下します。部屋の湿度は50～60%に保つようにしましょう。
- せきやくしゃみが出る場合は、マスクを着用しましょう。しぶきを飛ばさないようにすることが、周囲に感染させないための「咳エチケット」です。
- インフルエンザを防ぐため、予防接種を受けましょう。接種後、効果が出るまでには3週間程度かかるため、早めの接種を心がけましょう。なお、インフルエンザは気温が下がり、空気が乾燥し始める時期から流行します。流行時期の外出は控え、外出する場合には、人混みは避け、必ずマスクをしましょう。



健康・福祉・子育てに関する
情報をお知らせします。



幼児・児童や高齢者のインフルエンザ予防接種費用の一部を助成します

実施期間：平成27年10月10日(土)～平成28年1月31日(日)

(この期間以外に接種した場合は助成の対象になりませんので、ご注意ください。)



■幼児・児童

【対象】平成15年4月2日～平成26年12月31日生まれで、接種日に満1歳以上の人
【助成額】1回の接種につき1,000円。
(2回接種分まで)

■高齢者

【対象】昭和25年12月31日までに生まれ、接種日に満65歳以上の人
【助成額】自己負担額1,800円で接種できます。
(1回接種分のみ)

※美浜町に住所を有する人が対象です。

※対象者には、接種券を送付しています。助成を希望する方は、同封の説明書をよく読み、事前に病院で予約してください。

※お問い合わせ先
町健康づくり課(担当・飯田)
☎32-6713

今年最後の
健診です！



健診項目
(午前の部)
特定健診・肺がん・胃がん・大腸がん・前立腺がん
(午後の部)
特定健診・肺がん・大腸がん・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん

受付時間
(午前の部) 午前8時30分～10時
(午後の部) 午後1時～1時50分
会場 保健福祉センターはあとびあ

特定健診・がん検診のお知らせ
生活習慣病やがんの予防・早期発見のためには、健診を1年に1回、定期的に受診することが大切です。「都合がつかず受けそびれた」「うつかり忘れてしまっていた」等、今年の受診がまだお済みでない方は、ぜひお申込みください。

慶弔

9/1～9/30 受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏 名	性別	父・母	住 所
北 村 俊太郎 しゅんたろう	男	直人・八千代	河原市
河 下 葵 あおい	女	拓磨・由貴	佐 田
松 田 煌 太 こう た	男	基聖・瑠美	佐 田
橋 本 旭 陽 あさ ひ	男	慎矢・萌子	久々子
山 脇 奈 桜 な お	女	健一・仁美	久々子

◎ご結婚

氏 名 (旧 姓)	住 所
和多田 康 宏 & (笹 山) 歩 美	松 原

◎おくやみ

氏 名	住 所	年齢	届出人
金 森 初 枝	佐 柿	80	金 森 秀 樹
鳥 山 稷	日 向	71	鳥 山 敦
八 木 よし子	郷 市	84	八 木 進
山 口 し ず	日 向	91	山 口 隆 彦
川 藤 良 美	久々子	57	川 藤 裕 子
千 葉 邦 嗣	日 向	62	永 井 由一郎
清 水 達 子	大 藪	90	清 水 榮一郎
橋 本 満喜子	久々子	78	橋 本 幹 雄
濃 谷 愛 子	早 瀬	92	濃 谷 和 之
田 邊 文 男	坂 尻	77	田 邊 逸 子

わが家のアイドル



大塩 正人 さん・宏美 さん
(佐野)の長女

ひかり ちゃん (3歳)

10月で3歳になったよ。歌とおどりがだいすきで、さいきは英語の歌も練習中だよ。保育園へ行ったら、おともだちたくさんつくりたいな！

町人 さん



10月10日から11日にかけて開催された、第15回東日本学校吹奏楽大会に北陸地区代表として初出場し、高等学校部門で銀賞を受賞された

(上段左から)
林 久良々 さん (美方高校1年・久々子)
山口 柚香 さん (美方高校1年・気山)
江戸 実咲 さん (美方高校1年・木野)

(下段左から)
小林 里穂 さん (美方高校2年・新庄)
成田 ひなこ さん (美方高校2年・中寺)
前田 美咲 さん (美方高校2年・佐野)

* 大会に出場された感想をお願いします。

美浜町の皆様方よりたくさんの温かいご支援をいただき、本当にありがとうございました。本番では、練習の成果を発揮し、集大成とも言える美方高校らしい演奏ができました。3年生との最後の演奏は忘れられない一生の思い出です。先輩達の伝統と思いを受け継ぎ、来年も出場できるように頑張ります！

広報 みはま・ハートフルクイズ

四文字熟語ブロック分割

パズル面にある漢字群を7つの四字熟語に分割してください。うまく分割できると2つの漢字があります。それを並び替え、美浜町の土地・地区・場所の名称をつくってください。

例

大	器	不	言
和	晩	成	実
洋	折	衷	行

大	器	不	言
和	晩	成	実
洋	折	衷	行

● 応募方法

はがきに、答えと住所、氏名(感想も大歓迎！)を書いて、「広報みはまハートフルクイズ」係 (〒919-1192美浜町郷市25-25) まで送ってください。

締め切りは、11月9日(月)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。
メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】

kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp

【QRコード】



● 10月号の答え 安江

● 応募者総数は13人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

ふるさと昔話
よもやま話
(43)

古代美浜の土器製塩

遺跡調査の一つに試掘調査があります。これは開発事業の前に部分的に地中を掘削して調査することで、遺跡の範囲や深さ、時代や種類等を確認し、開発事業と遺跡保存を調整することが主な目的です。また、実際に工事で地中を掘削する際に、町の学芸員が立ち会うこともしばしばあります。今回は、このような調査で発見された遺跡をご紹介します。

『福井県遺跡地図』には、美浜町菅浜に菅浜遺跡の所在が収録されています。昨夏、県道建設に伴う関係工事によって、福井県埋蔵文化財調査センターや町教育委員会の試掘調査、工事立会等が行われ、地中の比較的浅いところから多くの製塩土器が出土しました。土器の作り方や表面が粗雑で、製塩土器に共通する特徴が見られます。製塩土器の多くは

破片で出土するのですが、土器の中の焼き固められた塩を取り出すため、わざわざ土器を割って捨てたかという説が一般的です。製塩土器は当時の消耗品であったようです。今回出土した製塩土器のほとんどは、写真のとおり小さな破片で、大きなものでも一辺が10cmほど、小さなものでは一円玉程度の大きさでしたので、土ごと土のう袋に収めて持ち帰り、土を洗い流して土器を取り出すという地味な作業を繰り返しました。

若狭の沿岸部に所在する多くの製塩遺跡の調査事例を参考に考えると、菅浜遺跡から出土した製塩土器は古墳時代後期(六〜七世紀)のものも多く、奈良時代以降(八世紀〜)のものも見られます。敦賀半島では、美浜町丹生に所在する東奥浦遺跡で七世紀から十二世紀までの製塩土器が出土していますので、敦賀半島の西岸の地域は古代の若狭でも屈指の製塩地帯であった可能性があります。

また、古代の製塩遺跡で作られた塩は、古墳時代には地域の豪族によって集められて管理され、奈良・平安時代には国家(平城京や平安京等)に税として納められました。これらのことから、古代社会にお



↑ 菅浜遺跡から出土した製塩土器

いて、ただ単に人体にとって必要だから、食品加工に必要なから、儀式に必要なからという理由だけでなく、権力の象徴として塩生産が重視されていた、その中心を担った地域が若狭であり、古代の美浜町であったと言えるかと思っています。

大規模な発掘調査でなくとも、試掘調査や工事立会等で得られる成果から、美浜町の歴史の一端を紹介しました。町内各所で学芸員が試掘調査や工事の立ち合いをしている姿を見かけることもあるかも知れませんが、その際はご理解、ご協力のほど、よろしく願っています。

(美浜町文化財室)

文芸欄

川柳

尾ひれ付け噂話が飛んで行く

山路 義隆 (太田)

これという話題なくても傍に居る

木野 千枝 (河原市)

女王気分バラの香りに包まれて

酒谷 文子 (日向)

忘れてたへそくり使い旅にでる

片板 慶子 (郷市)

耳遠くなって信じる二つの目

松井 とし子 (郷市)

人間の欲が地球を揺すつてる

田邊 初穂 (河原市)



■くらしのカレンダー■

平成27年11月

1 (日)	みはまナビフェス2015文化部門～3日 (なびあす) 8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 13:00～雅楽～千四百年の時を超えて～(なびあす) 18:30～映画「サクラサク」上映(なびあす)	17 (火)	9:30～保育園開放(せせらぎ保育園) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～土地建物登記法律相談(はあとびあ) 13:00～弁護士法律相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談(はあとびあ) 19:30～町民人権講座(なびあす)
2 (月)		18 (水)	古紙 (東地区)
3 (火)	文化の日 9:00～町政功労者表彰式(なびあす) 9:45～読書感想文コンクール表彰式(なびあす)	19 (木)	
4 (水)	10:15～育児講座「冬の感染予防について」 (はあとびあ)	20 (金)	10:00～ミニさくらんぼ(はあとびあ)
5 (木)	古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	21 (土)	15:00～海援隊トーク&ライブ2015(なびあす)
6 (金)		22 (日)	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (～12:00 エコクル美方)
7 (土)	みはまナビフェス2015産業部門～8日 (町役場特設会場)	23 (月)	勤労感謝の日 13:30～美浜町青少年育成研修大会・美浜町PTA 研修大会(なびあす)
8 (日)	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場) 8:30～ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (～12:00 エコクル美方)	24 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ)
9 (月)		25 (水)	
10 (火)	みはまナビフェス2015健康福祉部門～15日 (はあとびあ) 9:30～保育園開放(みずうみ保育園) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ)	26 (木)	13:00～1歳6か月児健診(はあとびあ)
11 (水)	古紙 (北・南地区)	27 (金)	10:00～ミニさくらんぼ(体育センター)
12 (木)	10:00～1歳児教室(はあとびあ) 古紙 (河原市・南市・栄区)	28 (土)	8:30～住民健診[生活習慣病予防健診、肝炎、 肺・胃・大腸・前立腺がん検診] (はあとびあ) 13:00～住民健診[生活習慣病予防健診、肝炎、 肺・胃・大腸・前立腺・子宮・乳がん検診] (はあとびあ) 13:00～伝統芸能まつり in なびあす(なびあす)
13 (金)	9:30～保育園開放(あおなみ保育園)	29 (日)	8:00～ハートフル朝市感謝セール (久々子水神公園広場) 町民ソフトバレーボール大会(総合体育館)
14 (土)		30 (月)	
15 (日)	8:00～ハートフル朝市(久々子水神公園広場)	11月の納税 [納期限 11/30(月)] ※納付は口座振替が便利です。 国民健康保険税 (5期)	
16 (月)			

●イベント ●健康診査・検診 ●子ども行事 ●ごみ・資源回収

●行事の予定は、10月19日現在のもので、一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。

●網かけの日は、役場はお休みです。

●古紙 は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。 ●毎週金曜日は **カー・セーブデー** です。

●休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

人口の動き

人口総数	前月比
10,059人	(-2)
男 4,910人	(+7)
女 5,149人	(-9)
世帯数	
3,748世帯	(+10)
平成27年10月1日現在	

▽表紙の写真
10月17日から18日にかけて、県立久々子湖ボートコースで行われた第28回町民レガッタのレースの様子です。

10月も後半となり、すっかり秋本番といった時期になってきました。さて、先日は第28回となる町民レガッタを取材しました。当日は、天候にも恵まれ穏やかな湖上で多くのクルーによるレースが繰り広げられました。毎年スタップとして働いていますが、仲間と力いっぱいオールを漕いだり、テントで和気あいあいと食事を楽しんだりする姿を見て湖の周りに「いい時間」が流れているのを感じます。参加された人は身体を動かして、おいしいものを食べ、すがすがしい気分が帰られた事かと思えます。それにしても、「〇〇の秋」とはよく言ったもので、何をしても「〇〇の秋」に「身軽さ」のようなものを覚えるところに、秋という季節の魅力だと思えます。普段なら少しだけ億劫なことも「秋だしやるなら今じゃないか」と思えば、なんとなく出来てしまいうような気がします。今年も10月から11月にかけて、町ではさまざまな催しが開催されます。「秋」にまかせて、ぜひお気軽に足を運んでみてください。(一)

こんにちは
企画政策課です。